

北見武道通信

令和6年4月4日 00685号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp



ニューズレター【事務局情報】旭大龍 北見から大相撲へ、4勝3敗勝ち越し！小学生、中学生と北見練心会で柔道を習っていた西田拓未くんが、大相撲で活躍しています。拓未くんは旭川龍谷高校に進学、柔道部のエースとして活躍しました。高校卒業と同時に角界に入門するため1月9日に両国国技館で行われた新弟子検査で合格。身長177センチ体重138キロの堂々たる体格で元旭天鵬の大島部屋に入門、「旭大龍」の四股名で初土俵しました。初場所前相撲戦では2勝3敗で負け越すも「柔道と相撲の動きは違う」と自ら悟り、今場所の序ノ口では4勝3敗でみごと勝ち越しました。写真は少年時代に柔道を指導した練心会の佐藤裕美先生に宛てたハガキですが、指導者全員が「今後の活躍を期待している」と喜んでいきます。(佐藤)

武道館スタッフ愛子の作品展シリーズ

武道館スタッフ織田愛子展 ※お題は「ジブリがいっぱい」
北見市武道館に展示



連載 中国「老子」の思想

二十七章 自然な生き方

自然な動きは、動きのあとを留めない。自然なことばに、失言はない。自然な計算に、算盤(そろばん)はいらない。自然に閉じた門は、カンヌキなしで閉じたのだから、開きようがない。自然に結ばれた縄は、結び目がないから、解きようがない。聖人は、あらゆる人を自然な生き方にみちびく。したがって、聖人のもとでは、捨てられる人はない。また、あらゆる物を自然なありかたにみちびく。したがって、聖人のもとでは、捨てられる物はない。これが、明であって明を忘れた無為自然の境地である。だから、「道」を知る者は、「道」を知らぬ者を救い、「道」を知らぬ者は、「道」を知る者に救われる。しかもたがいに救ったことに気づかず、救われたことに気づかない。知者の作為をもってしては知り得ぬ境地、これが「道」の至妙な極意である。原文太上、下知有之。其次、親之譽之。其次、畏之。其次、侮之。信不足焉、悠兮其貴言。功成事遂、百姓皆謂我自然。二十八章に続く